

資料展示「栗原貞子 没後20年」 を実施中です

「生ましめんかな」や「ヒロシマというとき」等の作品で知られる詩人・栗原貞子さんが亡くなってから、令和7年3月6日で20年を迎えます。これに伴い、関連資料の展示・貸出しを実施しています。（一部は館内閲覧のみ）

被爆80年の節目に、改めて、平和や戦争、核兵器の問題について考えるきっかけに
していただければと思います。

1 期間

令和7年2月6日(木)～3月2日(日)

2 内容

栗原貞子さんに関する資料49点の展示及び貸出し（一部は館内閲覧のみ）

3 展示資料

関連資料(図書48点、CD1点)

【例】

「黒い卵 完全版」栗原貞子／著 人文書院 1983

1946年に自費出版された詩集の完全版。初版は、占領軍の検閲によりいくつかの作品が削除された。

「中国文化 創刊号 原子爆弾特輯号」栗原貞子／編 「中国文化」復刻の会 1981

1946年に創刊された文芸誌の復刻版。「発刊の言葉」は夫の栗原唯一によるもの。

「行動する詩人 栗原貞子 平和・反戦・反核にかけた生涯」松本滋恵／著 溪水社 2023

広島県出身の著者による栗原貞子の研究書。第27回日本自費出版文化賞の部門賞（研究・評論）を受賞。



◀展示の様子